

令和4年2月24日	参考 資料 4
第9回歯科口腔保健の推進 に関する専門委員会	

# 令和3年度歯科健康診査推進事業 (地域における歯科口腔保健状況の分析・評価) 結果概要 (令和4年2月24日時点版)

ひと、くらし、みらいのために



厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

# 令和3年度歯科健康診査推進事業（地域における歯科口腔保健状況の分析・評価）

## <調査の概要>

### ■調査の目的

- 歯科口腔保健の取組状況等について、「基本的事項」及び「健康日本21（第二次）」における歯科口腔保健関連の評価指標の各項目等の観点から、都道府県等の自治体における歯科健診等の公表データやコホート調査研究等の成果等も収集・活用しつつ、最近の時系列的な推移等の把握する。

### ■調査方法

#### <都道府県の歯科健診等の公表データ>

- ✓ 厚生労働省が47都道府県等を対象に実施した、「令和3年度歯科口腔保健に関する調査」の報告値を活用した。
- ✓ 「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項に関する調査の実施状況」に関する把握項目について、年齢階層別の人口構成比による補正を行った。なお都道府県全体で調査対象が100名以下のデータは集計対象外とした。

#### <NDBオープンデータの活用>

- ✓ NDBオープンデータを活用し、歯周病関連の項目（中高生・40歳代・60歳代）について集計した。
- ✓ レセプト件数をもとに、歯周病治療を受けている人の割合を算出（年間のレセプト件数を12で除し、月間のレセプト件数を実人数の近似値と想定。ただし複数医療機関を受診している場合は、その数を含んでいる。）。
- ✓ 歯科診療行為別のレセプト件数と歯科傷病別のレセプト件数を活用した。

# 令和3年度歯科健康診査推進事業（後期高齢者の歯科口腔保健の状況把握等）

## <調査概要>

### <歯科口腔保健に係るコホート調査研究の活用>

- ✓ 日本歯科医学会を通じて下記の10学会に所属している研究者に対して、評価項目等に関連するデータの有無と活用の可否等に関する情報提供を依頼した（調査票については次頁ご参照）。

- 日本口腔衛生学会
- 日本臨床歯周病学会
- 日本補綴歯科学会
- 日本小児歯科学会
- 日本口腔リハビリテーション学会
- 日本歯周病学会
- 日本保存歯科学会
- 日本老年歯科学会
- 日本有病者歯科学会
- 日本歯科医療管理学会

- ✓ 全体では168名からの回答を得た。評価指標別の情報提供件数（非公表を含む）は下記の通り。

評価指標	「データ有」の件数
①中学生・高校生における歯肉に炎症所見を有する者の割合	2
②40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合	3
③40歳の未処置歯を有する者の割合	2
④40歳で喪失歯のない者の割合	2
⑤60歳の未処置歯を有する者の割合	1
⑥60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合	2
⑦60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合	1
⑧80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合	6
⑨過去1年間に歯科検診を受診した者の割合	5

# 令和3年度歯科健康診査推進事業（後期高齢者の歯科口腔保健の状況把握等）

## 〈ご回答いただいた歯科口腔保健に係る調査研究（主なもの）の概要①〉

### ①中学生・高校生における歯肉に炎症所見を有する者の割合

調査番号	調査方法	調査対象年齢・年齢階層	サンプル設定方法	調査項目	提供可能な数値					
					2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
A	定期健康診断の結果	高校生	高校（1箇所）	学校保健統計と同様	-	-	-	-	-	○

### ②40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合

調査番号	調査方法	調査対象年齢・年齢階層	サンプル設定方法	調査項目	提供可能な数値					
					2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
B	歯科健診、唾液健診	35歳～	特定健診受診者	C P I T N 唾液潜血	○	○	○	○		○
C	歯周疾患検診診査票の写しを収集	40歳	歯周疾患検診受診者	性別、年齢、歯の状況、歯周組織の状況、過去1年間の歯科検診受診の状況			○	○	○	

### ③40歳の未処置歯を有する者の割合

調査番号	調査方法	調査対象年齢・年齢階層	サンプル設定方法	調査項目	提供可能な数値					
					2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
D	歯周疾患検診診査票の写しを収集	40歳	歯周疾患検診受診者	性別、年齢、歯の状況、CPI			○	○		
E	インターネット調査	35～44歳	インターネット調査による各年齢層（5歳間隔）	未処置状態の歯の有無						○

※「提供可能な数値」については、実際に数値のご回答をいただいた年に○

# 令和3年度歯科健康診査推進事業（後期高齢者の歯科口腔保健の状況把握等）

## <ご回答いただいた歯科口腔保健に係る調査研究（主なもの）の概要②>

※「提供可能な数値」については、実際に数値のご回答をいただいた年に○

### ④中学生・高校生における歯肉に炎症所見を有する者の割合

調査番号	調査方法	調査対象年齢・年齢階層	サンプル設定方法	調査項目	提供可能な数値					
					2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
F	歯周疾患検診診査票の写しを収集	40歳	歯周疾患検診受診者のうち同意の得られた者	性別、年齢、歯の状況、CPI			○	○	○	
G	インターネット調査	35～44歳	インターネット調査による各年齢層（5歳間隔）	喪失歯の有無						○

### ⑤60歳の未処置歯を有する者の割合

調査番号	調査方法	調査対象年齢・年齢階層	サンプル設定方法	調査項目	提供可能な数値					
					2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
H	インターネット調査	55～64歳	インターネット調査による各年齢層（5歳間隔）	未処置状態の歯の有無						○

### ⑥60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合

調査番号	調査方法	調査対象年齢・年齢階層	サンプル設定方法	調査項目	提供可能な数値					
					2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
I	歯科専門職による口腔診査	65歳以上	特定地域の調査研究協力者	歯周ポケット深さ アタッチメントレベル プロービング時の出血						○

# 令和3年度歯科健康診査推進事業（後期高齢者の歯科口腔保健の状況把握等）

## <ご回答いただいた歯科口腔保健に係る調査研究（主なもの）の概要③>

⑦60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合

※「提供可能な数値」については、実際に数値のご回答をいただいた年に○

調査番号	調査方法	調査対象年齢・年齢階層	サンプル設定方法	調査項目	提供可能な数値						
					2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	
J	インターネット調査	55～64歳	インターネット調査による各年齢層（5歳間隔）	喪失歯の有無							○

⑧80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合

調査番号	調査方法	調査対象年齢・年齢階層	サンプル設定方法	調査項目	提供可能な数値						
					2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	
K	自記式調査	80歳	不明	残存歯数				○			
L	不明	不明	不明	20歯以上を有する者	○						
M	レセプトデータからの抽出	80歳	病院（1箇所）受診患者	残存歯数					○	○	
N	歯科専門職による口腔診査	65歳以上	特定地域の調査研究協力者	現在歯数	○	○	○	○	○	○	
O	歯科専門職による口腔診査	70歳以上	特定地域の調査研究協力者	現在歯数	○		○				
P	歯科専門職による口腔診査	65歳以上	65歳以上の住民	現在歯数	○	○	○	○			

⑨過去1年間に歯科検診を受診した者の割合

調査番号	調査方法	調査対象年齢・年齢階層	サンプル設定方法	調査項目	提供可能な数値						
					2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	
Q	自記式調査	65～95歳	不明	「治療以外」（健診など）の通院状況				○			
R	インターネット調査	25～64歳	インターネット調査	定期的な歯科医院の受診状況（歯科健診を含む）							○

## < (参考) 歯科口腔保健に係るコホート調査研究：調査票① >

令和3年度厚生労働省事業「歯科健康診査推進事業(地域における歯科口腔保健状況の分析・評価等)」へのご協力依頼

～歯科口腔保健状況に関するデータ提供をお願い～

【目的】本事業では、歯科口腔保健に係るコホート調査研究等のデータを活用し、「基本的事項」及び「健康日本21(第二次)」における歯科口腔保健関連の評価指標について、最近の時系列的な推移等を把握するための基礎資料を得ることを目的として実施します。下記問1～問9に関してご提供可能なデータがある場合は、調査趣旨をご理解いただき、本事業にご協力くださいますようお願い申し上げます。

【各問において提供を依頼している項目】  
問1 中学生・高校生における歯肉に炎症所見を有する者の割合  
問2 40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合  
問3 40歳の未処置歯を有する者の割合  
問4 40歳で歯尖角のない歯の割合  
問5 60歳の未処置歯を有する者の割合  
問6 60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合  
問7 60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合  
問8 60歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合  
問9 過去1年間に歯科検診を受診した者の割合

ご回答者のお名前をご記入ください\*

記述式テキスト(短文回答)

ご回答者のご所属をご記入ください\*

記述式テキスト(短文回答)

ご回答者のご連絡先(メールアドレス等)をご記入ください\*

記述式テキスト(短文回答)

問1 「中学生・高校生における歯肉に炎症所見を有する者の割合」について①～②-12にお答えください。

説明(省明可)

①当該割合に関連する研究結果をお持ちですか。\*

- 持っている → ②にお進みください  
 持っていない → 問2にお進みください

②-1 (①で「持っている」とお答えの場合) 調査名をご記入ください。

記述式テキスト(短文回答)

②-2 (①で「持っている」とお答えの場合) 調査年をご記入ください。

記述式テキスト(短文回答)

②-3 (①で「持っている」とお答えの場合) 調査対象地域をご記入ください。

記述式テキスト(短文回答)

②-4 (①で「持っている」とお答えの場合) 調査方法をご記入ください。

記述式テキスト(短文回答)

②-5 (①で「持っている」とお答えの場合) 調査対象年齢・年齢階層をご記入ください。

記述式テキスト(短文回答)

## < (参考) 歯科口腔保健に係るコホート調査研究：調査票② >

②-6 (①で「持っている」とお答えの場合) サンプル設定方法をご記入ください。

記述式テキスト (短文回答)

②-7 (①で「持っている」とお答えの場合) 調査対象人数・サンプル数をご記入ください。

記述式テキスト (短文回答)

②-8 (①で「持っている」とお答えの場合) 調査項目をご記入ください。

記述式テキスト (短文回答)

②-9 (①で「持っている」とお答えの場合) 追跡可能期間をご記入ください。(例：2016年～2020年、2017年・2021年 等)

記述式テキスト (短文回答)

②-10 (①で「持っている」とお答えの場合) 現時点での公表の有無についてご回答ください。

公表している

公表していない

②-10SQ (①で「持っている」、②-10で「公表している」とお答えの場合) 論文名をご記入ください。

記述式テキスト (短文回答)

②-11-1 (①で「持っている」とお答えの場合) 既にご提供可能な数値がある場合は、その値をご記入ください。【2016年】

記述式テキスト (短文回答)

②-11-2 (①で「持っている」とお答えの場合) 既にご提供可能な数値がある場合は、その値をご記入ください。【2017年】

記述式テキスト (短文回答)

②-11-3 (①で「持っている」とお答えの場合) 既にご提供可能な数値がある場合は、その値をご記入ください。【2018年】

記述式テキスト (短文回答)

②-11-4 (①で「持っている」とお答えの場合) 既にご提供可能な数値がある場合は、その値をご記入ください。【2019年】

記述式テキスト (短文回答)

②-11-5 (①で「持っている」とお答えの場合) 既にご提供可能な数値がある場合は、その値をご記入ください。【2020年】

記述式テキスト (短文回答)

②-11-6 (①で「持っている」とお答えの場合) 既にご提供可能な数値がある場合は、その値をご記入ください。【2021年】

記述式テキスト (短文回答)

②-12 (①で「持っている」とお答えの場合) その他、データを活用させていただくに当たっての留意点等がございましたらご記入ください(申請の必要性等)。

記述式テキスト (長文回答)